

「私たちを照らす真の光」

イザヤ書 9章1～6節

本学講師・日本キリスト教団巣鴨教会牧師 渡辺 善忠

旧約聖書の預言者イザヤが歩み始めた時代に、イスラエルは北王国と南王国に分裂していました。イザヤは南王国の預言者であったため、「大いなる光」、「光が輝いた」(9章1節)という御言葉には、南王国に新しい王が現れることへの期待が込められていると考えられています。また「ひとりのみどりご」、「ひとりの男の子」という御言葉には、若い王が現れることが預言されています(5節)。この預言が語られた時代に若くして王となったヒゼキヤはイザヤの預言に従って南王国を治めたため、イザヤ書の御言葉は信仰深い王があらわれる預言として長く受け継がれました。この預言は後に、神が救い主を遣わす御業を指し示す預言として理解されるようになりました。

この理解は旧約聖書の時代から新約聖書の時代へ受け継がれ、教会の人々はイザヤの預言が神の御子イエスが生まれたことによって実現したと信じました。このためヨハネによる福音書の冒頭には、神の御子イエスが「光」としてお生まれになったと告げられています(1章4～5節)。ヨハネ福音書が記された紀元後1世紀後半に、イスラエルはローマ帝国に支配されていました。このため「光は暗闇の中で輝いている」(1章5節)という御言葉は、ローマ帝国の支配の中で暗闇の中のように思っていた人々が「光」であるイエス・キリストに希望を与えられていたことが示されています。

私たちが「暗闇」の中のように感じる場合があります。試験に失敗して希望していた道が閉ざされた時や、病気や怪我などで歩めなくなった時に、私たちは「暗闇」の中のように感じることはないでしょうか。そのような時には「光」という御言葉によって、神が私たちの歩みを照らし導いて下さる恵みを思い起こして下さい。「光」であるイエス・キリストの御業を伝える聖書の御言葉と聖霊(神の見えない力)によって私たちが守り導かれていることをぜひお心に留めて下さい。

私たちは新型コロナウイルスのために約一年半に渡って様々な制約を強いられています。ワクチン接種が始まり、治療薬が開発されつつあることは、私たちにとって「光」です。まだ決して油断はできません。しかし周りの小さなところから「光」を見出しつつ、歴史に遺る困難を共に乗り越えることを切に祈り願っています。

祈 禱

主イエス・キリストの父なる神様。暗闇の中を歩んでいる人々にあなたが「光」を授けておられる恵みに心から感謝致します。イザヤ書とヨハネ福音書の御言葉によって、神の御子イエス・キリストが私たちを照らす真の光としてお生まれになった出来事を心に刻ませて下さい。世界全体が大きな苦難に直面している中で、聖書の御言葉と聖霊によって「光」を見出しながら困難を乗り越える知恵と力を授けて下さい。

感謝と願いを、主イエス・キリストの御名によってお祈り致します。アーメン。

2021年10月20日 聖学院大学 全学シリーズ礼拝「聖書が語る希望」